令　和　元年 9月 19日	
資　料　提　供	
担当課(室)	県立博物館
担当班・係	学芸課
担　当　者	主任学芸員 大河内
電　　話	073-436-8670（博物館代表）

九度山町・槙尾山明神社への「お身代わり仏像」の奉納について

県立博物館では、県立和歌山工業高等学校、和歌山大学教育学部の協力を得て、3Dプリンターを用いた文化財の精巧な複製を作り、文化財の防犯や防災の対策への活用を図っています。高齢化や人口減少などの要因により、管理や保全が困難になっている地域の寺社にある文化財を博物館で保管し、かつ、信仰されてきた環境を維持するための取り組みで、平成24年度から30年度までに、県内13か所の寺社に26体の「お身代わり仏像」（神像を含む）を安置しています（※今回を含むと14ヶ所・28体）。

このたび、本年4月から製作していた九度山町・槙尾山明神社の神像2体（高野明神立像・白鬚明神坐像）のお身代わり像につきまして、下記日程にて奉納することとなりましたので、お知らせします。

現地には製作に携わった県立和歌山工業高等学校の生徒と、着色作業を行った和歌山大学の学生が訪れ、新たに製作したお身代わり像を地域住民の皆さんにお渡しするとともに、神社のすぐ横にある九度山中学校の生徒とも交流を図ります。

なお、今回の奉納は、生徒・学生が地域の方々と交流を行うことで学びをより充実したものにするとともに、住民の方々がお身代わり像をより身近に感じていただく機会とすることを目的としています。

日　時　令和元年(2019) 9月27日（金） 13:00～14:00ごろ（予定）
場　所　槙尾山明神社（九度山町九度山619）　※車は社前の広場に駐車できます。
参加者　明神会（神社を維持する地域住民の集まり）のみなさん、九度山中学校1年生（約30名）
　　県立和歌山工業高校産業デザイン科生徒・教員、和歌山大学教育学部美術科教育専攻学生
　　和歌山県立博物館職員、九度山町教育委員会職員　ほか
内　容　社務所にてお身代わり像を前に生徒・学生・住民の交流ののち、明神会代表への奉納式
当日連絡先　大河内智之（090-9546-6094）、九度山町教育委員会　山本新平（090−5129−7948）

※複製製作は文化庁「平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業」の成果によるものです。

↑白鬚明神坐像

←高野明神立像

現地地図→

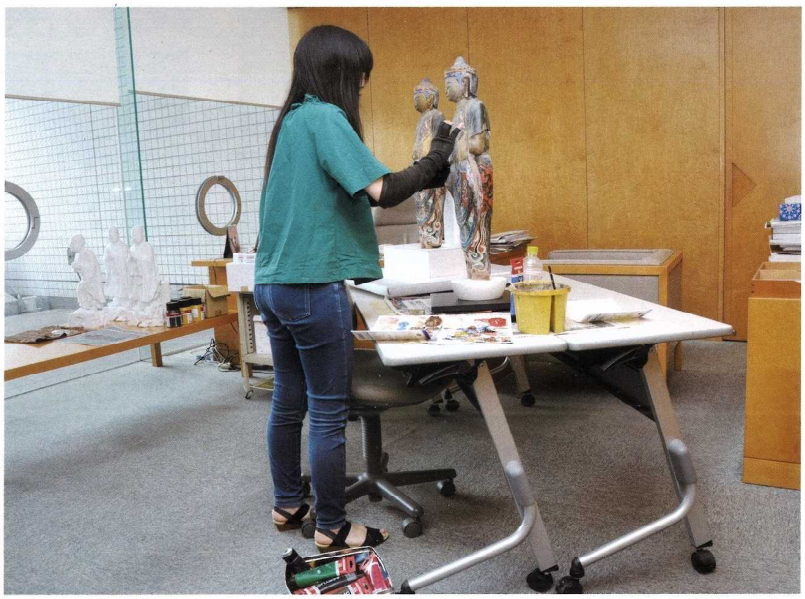
3Dプリンター製お身代わり仏像の制作方法

①3Dスキャナーを用いて資料を様々な角度から非接触で計測（図1）。
②得られた3DデータをCADソフトを用いて修正（図2）。
③3Dプリンターを用いて、ABS樹脂やASA樹脂等で出力。
④部品の接着、表面の研磨等による下地仕上げ。
⑤アクリル絵の具を用いて彩色し完成（図3）。

製作にあたっては、和歌山県立和歌山工業高等学校産業デザイン科の担当教員と調整の上、実習時間にあわせて学芸員が資料を輸送し、生徒と計測やデータ修正の作業を進めています。完成したデータは3Dプリンターで出力し、各パーツは博物館職員によって表面をアセトンで融解したりサンドペーパー、ルーターを用いて研磨した後、接着して隙間をエポキシパテで埋め、ジェッソを塗布して下地処理を行います。その上で、ミュージアムボランティアに登録した和歌山大学教育学部学生が博物館内でアクリル絵の具を用いて着色しています。

（図1）

（図2）



（図3）